

定例議会 平成22年度 質疑

の繰り入れのないよう努力してまいります。

Q 売り上げが伸びているのに、歳入の補正がなかつたのはなぜか?

A 産業観光課長 ケープ真鶴での売上は増えていますが、魚座は落ちています。そのため全体の歳入の補正ができるない状況です。



介護保険

Q 保険給付費が、当初予算よりも7・500万円以上も急激に増加しているのはなぜか?

A 介護健康課長 認定者数は増えていますが、高額医療関係が増えていたためと、1人当たり利用されるサービスの質・量が増えているためが、保険給付費の増加の要因です。

Q 基金について、21年度は2,800万円あつたが、1,800万円に減っているとの認識で良いのか?

A 町長 私は、一生懸命やつていていますが、高額医療関係が増えていましたが、基金は昇給させています。毎年24

A 介護健康課長 基金について、23年度で使い切る可能性があります。

町民の負担を下げるため介護保険料を低い額で設定し、基金の取り崩しで運用しています。24年度から利用者負担の見直し等を検討していこうと考えています。

11月臨時議会質疑

Q 条例の改正により職員のラスパイレス指数がどのように変化するかと、**試算**できているのか。

A 管理課長 ラスパイレス指数につきましては、年間給与支給した分を、国家公務員給与と比較し出されるもので、今回の改定によるラスパイレス指数の正確な数値については、まだ出ておりません。

Q 今度の給与改定で影響される金額は?

A 管理課長 給与改定で影響を受ける額は、総額で支給額が802万9,525円減ります。期末・勤勉手当については1人当たり平均で、6万5,336円、給料表の改定については、対象66人で、1人当たり1万4,746円の減額になります。

Q 国家公務員給与を100とすることで、**真鶴町は90%にもいかない状況**でどのように近づけていくのか?

A 町長 民間ベースと比較した中で、人事院勧告はされるものです。

人ぐらいは昇給しています。評価されたという解釈です。私が認めてきてあげた職員との評価の部分はありますが、職員が国際のラスパイレス指数ぐらいで近づける仕組みをとることが必要と思っていますので期待してください。

Q 真鶴町職員の給与を周辺の自治体の職員と同じように平均に近づけるといふは国家公務員に近づけるといふ努力を、町長として考えているのか。

A 町長 民間ベースと比較した中で、人事院勧告は受け入れなければ、国からペナルティーが付きます。今後、人事評価システムをしっかりと確立して少なくとも、一生懸命やる職員を国家公務員のベースに近づけ、職員の資質を上げていきたく思います。

Q 年間期末手当を3・95ヶ月分に改定するように人事院勧告があつたということだが、町長、特別職と議員報酬は報酬審議会によつて改定されると理解しているが、手続きはなかつたのか。

A 管理課長 人事院が、11,100の民間事業所で45万人の個別所得を調査し比較によって公務員の給料を検討して、出されたのが人事院勧告です。特別職等の期末手当は、昨年の報酬審議会で職員の期末・勤勉手当支給月と連動するとしています。今回の町長、特別職

と議員報酬は支給割合の変わったことに対しても改定させていただいたものです。

Q 今後、人事評価をどのように進めていくのか、現在、職員の給与総額があがつていているのか。

A 町長 定員適正化計画に基づく定数として112人、退職者に応じて適宜補充をし、バランスをとつて総額もある程度見込んでいきます。

年に2回、職員から異動希望をとり、どういう仕事をやりたいのか職員から意見を聞いています。

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は
2月28日(金)～3月11日(金)
予定です。

真鶴地域情報センターでも
議会中継をしてます。

